

富士市中小企業景況調査結果

2019年度第4四半期【令和2年1月～3月】

令和2年4月
富士商工会議所調べ

◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。
製造・建設・卸売・小売・サービス業の5産業、200事業所(回収率67.8%)を対象に、「令和2年1月～3月」の3ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

DI(景気動向指数)とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…令和元年10月～令和元年12月 今期…令和2年1月～3月 来期…令和2年4月～6月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

◇ 今期調査の概況 ◇

主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲31.8	↓	▲51.5 (▲23.9)	↓	▲57.7
売上	▲22.3	↓	▲43.7 (▲13.0)	→	▲40.9
採算	▲36.1	→	▲40.0 (▲28.7)	↓	▲45.0

今期において全産業合計の主要DIについて、採算は横ばいの状況であるが、業況(▲19.7ポイント)・売上(▲21.4ポイント)ともに大幅に下降に転じた。来期の予測については、全産業合計の売上は弱含みの横ばい、業況・採算DIは下降の見込みとなった。

産業別にみると、業況のDIは全産業全て下降となり、売上高も小売業以外が下降に転じた。新型コロナウイルスの感染拡大により景況感が悪化するなか、東京オリンピックパラリンピックの延期決定などの先行き不透明感の高まりに伴い、来期予測も製造業・建設業・卸売業など下降を予測。サプライチェーン(調達・供給網)の寸断は、製造業はもちろん建設業や卸売業・小売業にも及んでいる声が多かった。外出自粛によってサービス業を中心に消費活動は落込み、影響は甚大で継続的な注視が必要とみられる。

経営上の問題点では、製造業は「設備老朽化」、建設業は「人材不足」、卸売業・小売業・サービス業は「売上減に伴う利益減」それぞれ1位となった。

◇ 全産業の動き ◇

〔業況のDI〕 製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業と全産業、全て下降。

来期、小売業は上昇。製造業、建設業、卸売業、サービス業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲36.4	↘	▲47.2 (▲31.6)	↘	▲55.9
建設業	▲13.8	↘	▲40.0 (0.0)	↘	▲48.3
卸売業	▲45.8	↘	▲54.6 (▲22.8)	↘	▲65.3
小売業	▲57.9	↘	▲68.4 (▲23.6)	↗	▲50.0
サービス業	▲14.8	↘	▲55.6 (▲40.0)	↘	▲69.3
全産業	▲31.8	↘	▲51.5 (▲23.9)	↘	▲57.7

〔売上高のDI〕 小売業は横ばい。製造業、建設業、卸売業、サービス業は下降。

来期、卸売業は上昇。製造業、建設業、サービス業は横ばいを予想。小売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲21.2	↘	▲38.9 (▲26.3)	→	▲34.3
建設業	▲6.9	↘	▲43.3 (0.0)	→	▲41.4
卸売業	▲41.7	↘	▲60.9 (▲18.2)	↗	▲47.9
小売業	▲36.8	→	▲36.8 (▲23.5)	↘	▲42.1
サービス業	▲12.0	↘	▲40.8 (4.0)	→	▲42.3
全産業	▲22.3	↘	▲43.7 (▲13.0)	→	▲40.9

〔採算のDI〕 製造業、卸売業、小売業は上昇。建設業、サービス業は下降。

来期、製造業、建設業、卸売業は横ばいを予想。小売業、サービス業はともに下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲46.9	↗	▲38.9 (▲50.0)	→	▲40.0
建設業	▲24.2	↘	▲36.6 (▲10.7)	→	▲37.9
卸売業	▲54.1	↗	▲39.1 (▲28.6)	→	▲43.5
小売業	▲52.7	↗	▲47.4 (▲25.0)	↘	▲55.5
サービス業	▲7.7	↘	▲40.8 (▲19.2)	↘	▲53.8
全産業	▲36.1	→	▲40.0 (▲28.7)	↘	▲45.0

◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

【製 造 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙』…「包装用紙製造では、新型コロナウイルスの感染を防ぐため世間が外出を控えて消費マインドが低下すると需要が減少し、痛手となる。」「ペーパーレス化の加速や労働力不足により業況は益々悪化。構造的問題ゆえに対応に苦慮しているが、今後生産体制についても再構築が必要となるかもしれない。」とのコメント。

『紙加工』…「米中貿易摩擦など中国経済の減速が鮮明化し、需要が減退している。紙の抄造時の異物混入に対する各原紙メーカーの検査強化は継続されており、原紙検査のニーズは堅調である。新型コロナウイルス拡散による影響は計り知れず、景気減速が加速していくと思われる。」「家庭紙製造では、昨秋の消費税増税による駆け込み需要と直近の品不足にてある程度の数字は見込まれるが、今後インバウンド需要を見越した増産の反動が懸念される。」「新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか注視する。」との声。

『金属加工』…「新型コロナの影響拡大で予定されている仕事が次々とストップしている。」「基幹産業である自動車産業の不振により、当業界自体が低迷。新型コロナウイルス感染症の影響により、先が見えず更に悪化の様子。」「自動車部品については受注が減少しており、工作機械部品についてはメーカーによっては受注残の部品は流れるが全体的に減少。新型コロナウイルスの影響で先行きは不透明、回復までは6ヶ月以上先になると思われる。」との意見。

『自動車部品』…「全く先が読めない状況。グローバル化によるメーカーの部品供給不足によるキャンセルからいつ回復するかも不明。」「法規制や消費税増税による反動減が終息してきているが、コロナウイルスの感染拡大に伴い今後の輸出入への影響が読めず憂慮する。」という声。一方、自動車金型部品では当業界は2年ほど前から国内生産が主流であり、幸いにして今現在コロナウイルスの影響はない。とのコメントもあった。

『機械器具』…「金型部品業界は近年二極化が進んでいる。各業界が淘汰され、広い視野で会社の方向性を見極めていかないと難しく、一層の努力と製品の品質の高さに見合う生産性等が求められる。」「各企業、生産動向をみても景況感格差は広がり、明るい兆しが見られない。」「最低賃金等の引き上げにより、人件費負担が重くなり財務が圧迫される。」「昨今、各製茶工場に於いてJGAP(食の安全・労働安全・環境保全等生産工程における農業について付与する認証)を取得に向けた努力をしているが、多額な諸費用が掛かるため取得できず廃業に追い込まれる工場も出ている状況。昨年は在庫過多となり、過去最低の茶葉価格となった、さらに今年は新型コロナの影響で東京オリンピック開催も延期となると、経済的先行きが懸念される。」との声。

『繊維加工』…「暖冬及びコロナウイルスの影響により、生産・需要ともに大幅な低下が見られる。そのため現状では先の見通しが見つからない。」とのコメント。

『印刷資材』…「印刷用インキ業界、産業機器販売ともに弱含み、家庭紙業界の印刷部門は順調。」「新型肺炎により今後の見通しは全く不明、東京オリンピックの開催が危ぶまれるようなら、リーマンショック以上のダメージになると思われる。しかし、世界各中央銀行が金融対策として協調姿勢を示しているので期待したい。」との意見。

『食品』…「新型コロナウイルス感染防止に向けた学校一斉休校に伴う、給食食材のキャンセルが大打撃である。」「小売店の販売価格(過当競争)に巻き込まれないように注意が必要。」「2月より既存客売上が減少傾向。新規獲得で売上は維持しているが、新型コロナウイルスの影響が予測できない。昨年末から消費者の心理動向が貯蓄に移行しているように感じる。」「新型コロナの影響により、サービスエリア等観光地において土産商品

の売上が減収。先行きの見通しが立たず、しばらくは厳しい状況が継続すると思われる。」
 「中食(家でする食事)向け製品(インスタント麺・レトルトカレー等)の需要が好調、一方外食向け製品は不振。」との回答。

『飲料』…「緑茶の消費がペットボトル茶へ移行することで販売単価が低下。緑茶への嗜好が多様化しており、今後品質向上と新たな商品開発などが必要となってきた。」「JGAP等の取得に対応できず廃業する業者・農家が増えるのではないか。」との見解。

『その他』…「労働者が交代勤務を嫌う傾向にあり、求人を出しても殆ど来ない状況が続いている。」「製造業に於ける人手不足は深刻さを増し、中小・小規模企業は最低賃金の引き上げが経営を圧迫させる状況を実感している。」「飲食業界は、学校・行政関係、大企業の予約が相当数キャンセルされ、旅館業もスポーツ行事の中止が相次ぎ困惑している様子。」との声。「当市東部地域では、高齢化が進み世帯数が減少している。」「須津地域の『富士山れんげまつり』が毎年開催されていたが、今年は見送られた。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	2.8	47.2	50.0	▲47.2	下 降
売上高	8.3	44.4	47.2	▲38.9	横ばい
採 算	2.8	55.6	41.7	▲38.9	横ばい

【建設業】 景気ムード…【厳しい状況】

『総合建設』…「人員・人材不足は一向に改善されず、時間外労働が増えるばかりで生産性は上がらない。資材高騰も止まらず納期も定まらず苦慮するばかりである。加えて新型コロナウイルスの影響が思いのほか大きく見通しがつかない。」「公共工事は増加傾向にあるが、人員不足で受注出来ないケースが発生している。不調・不落の入札が増加している。新型コロナウイルスの影響で資材・機材の調達ができず、工期内に遅れが生じるケースが増えていく気配。また、顧客の設備投資意欲の減少に付随し需要も減退していく模様。」「コロナショックで個人消費・設備投資共に低下し、受注量も低迷。政府の緊急経済対策の大型補正予算による公共投資が見込まれ、多少下支えしてくれるものと期待する。」また、「公共工事の減少、民間工事の設備減により工事量は減少傾向。新型コロナウイルスの影響により、一部資材が入手困難なものがあり、工事遅延による経費増加に伴い不採算となっている物件が発生している。新型コロナウイルスにより取引先の設備計画の見直し等が受注減少に繋がり今後が懸念される。」とのコメント。

『一般住宅』…「新型コロナウイルス感染拡大に伴い、メーカーの製品が納期遅延。」「消費税増税直後に比べれば受注減少はあまりみられないが、新型コロナウイルスの影響で消費マインドの冷え込みを危惧する。リーマンショック時のように社会的弱者への影響も案ずる。」「新型コロナウイルスの影響がこの先どうするか予測できない。」との意見。

『建設関連』…「公共工事の減少で先行き不安。建設現場の高齢化が進み、現役として現場で身体を酷使しながら作業をしている状況。安全対策をしても危険なイメージが払拭できず、若年層の就労離れ及び離職率が高い状況から慢性的な人手不足は解消できずにいる。」「新型コロナウイルスの影響はないが、大型物件の受注は昨年と比べ若干の減少傾向。相変わらず人員・人材不足が問題視される。」「需要物件数が減少するのは間違いない。」との声。

『**土木関連**』…「生コン関連では生産・販売は需要に比例して減少すると思われる。今後需要が高まるとは思えないため、新商品を研究開発し、販路拡大を図ろうと思っている。」
 「公共・民間共に造園工事が減少しているため、緑花木の需要が少ない。県道緑花木の維持管理については、高木の本数を減らし管理費を抑えるように樹勢の悪い木は伐採している状況。近年多発する自然災害のため、河川法面等の除草や灌木の伐採工事が増加すると予測。」
 「民間の剪定が減少し、樹木の伐採が増えた。公共工事の発注に期待したい。」とのコメント。

『**設備工事**』…「新型コロナウイルス感染に伴い設備投資が減少。取引依頼の少ない新規事業展開を見送っている企業が散見されている。現時点では見通しがたたずウイルスの終息を待つしかない。」
 「消費税増税後、新築住宅の着工や住宅設備工事が減少すると予測されていたが、更に新型コロナウイルスの感染拡大により、器具類の発注が困難になり、中国に頼っている日本の弱さが露呈された。」
 「新型コロナウイルスの影響が、飲食業・宿泊業のみならず様々な業種に及んでおり、全般的に悪化している。今後感染の広がり次第で長期の景気後退が予想される。」
 また、「人員・人材不足により受注ができず売上ものびない。ハローワーク等のほかにも求人、斡旋を模索したい。」との回答。

『**建設車両等賃貸**』…「受注単価の値崩れが始まっている。」とのコメント。

『**屋外広告・イベント**』…「新型コロナウイルスの影響によりイベントのキャンセルが相次ぎ厳しい状況。感染が拡大し、いつまで続くのか3月中は各企業団体ともに自粛ムードが高まり、4月以降は未定(協議中)が多いため見通しが立たない。」との声。

『**その他**』…「新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、マスクの品薄の状態が続いている。本来、必要となる人に回って欲しいものだ。」
 「イベントの中止や延期、外出の自粛など言われているが、土日のゴルフ場は思いのほか混雑している。」
 「富士宮バイパス沿いに大手インテリア小売業(ニトリ)が、5月より工事着工予定」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	6.7	46.7	46.7	▲40.0	下 降
売上高	6.7	43.3	50.0	▲43.3	横ばい
採 算	6.7	50.0	43.3	▲36.6	横ばい

【卸 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『**機械器具**』…「新型コロナウイルス拡散の影響により関東地方の工事発注は数ヶ月ずれ込む見込み、県内業界はそれほど影響が出ていない様子。」
 「製品受注は20~30%減少している。4月以降の売上は新型コロナが終息するまで予測不能である。」
 「1月~3月に掛けて販売数は増えたが、新型コロナウイルスの影響で動きが鈍く4月~6月に掛けては見込み薄。しかし、ガソリン価格が連続で値下がり助かっている。」
 「製紙業界では新工場の建設は概ね家庭紙製造分野が中心で洋紙等の需要が縮小していることを痛感する。」との声。

『**自動車部品**』…「今期1月の売上高は5%、2月は10%の減少、3月も10%の売上減が予想される。要因として貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響で国内需要が落ち込み、国内外ともに自動車の販売実績が低下。引取り中古車台数も減少し、自動車整備需要の低迷

に繋がっていると思われる。新型コロナウイルスの感染拡大を阻止しない限り、経済活動の収縮による損失を小さくすることが出来ない。」との意見。

『**建築材料**』…「新型コロナウイルスの影響で防塵マスクも品切れとなり、お客様に提供できない状況が続いている。建設業界でも中国生産の設備機器に納期遅延などの影響が出ている。今後さらに広い範囲で悪影響が発生することに注意したい。」と回答。

『**紙**』…「新型コロナウイルスの影響により、景気が減退し受注減少・販売不振に陥っている。」「消費全般の落込みが懸念されるなか、イベント中止やテーマパーク等の休園などの影響で、間接的な売上減少の可能性があるとと思われる。」との声。

『**製紙原料**』…「中国の古紙輸入規制に加え、新型コロナウイルスによる中国国内の混乱が、より一層先行き不透明感を増大化している。」「古紙再生コストによるが、板紙系古紙のゴミ化が進み、リサイクル維持をどのように図っていくかが問題だ。」「数ヶ月前より古紙輸出の低下、メーカーの生産減少等により段ボール・雑誌の在庫が毎月増加している。トイレットペーパーの品切れ問題も落ちつき、衛生紙・家庭紙の動きは堅調になると思われる。地場産業の製紙業界が活発に動かない限り原料商としては成り立たない。」というコメント。

『**再生資源**』…「鉄スクラップを原料として電気炉で鉄鋼を生産する鉄鋼メーカーが製品需要低迷により、生産制限に入った。鉄スクラップ相場や鋼材市況（銅・地金相場等）の軟化。更に新型コロナウイルス感染拡大などの影響により続落。」「新型コロナウイルスの影響で日本経済停滞のなか、鉄鋼製品及び原料の動きが悪化し、今後の動きを危惧する。製造業の不調が続く、鉄・非鉄金属スクラップの発生が減少している。」「廃棄物・廃プラスチック処分の需要量が増加傾向にあり、適正処理の信頼性及び適正価格のためより良い設備環境と多様な需要に応じられる体制を整える時期だと思われる。」との意見。

『**工業薬品**』…「新型コロナウイルスの影響にてトイレットペーパー等の家庭紙需要が増える一方、外出制限やイベント中止により経済の先が読めない。」「新型コロナウイルスの影響で不織布製品製造工場は多忙、当社取扱い原料の需要も高く、年度末に掛けて忙しくなると推測する。取扱製品として消毒剤・マスク・手袋の需要が拡大され、在庫見込み不明品が多く苦慮している。」「インバウンド減少のため、家庭紙の需要にも関連してくるのではないかと注視したい。」との声。

『**食品**』…「以前より家庭用需要は継続して減少傾向だが、今回の新型コロナウイルスの影響で業務用需要も減退。自粛活動がどこまで継続するかによって左右されるが、観光地向けの商品販売が1/4程度に縮小した。」とのコメント。

『**その他**』…「紙のまち当市でも新型コロナウイルス影響でデマ情報が拡散し、トイレットペーパー・ティッシュペーパー等が買えない状況が続いた。人は不安を抱くとデマを信じてしまう傾向がある。デマの発信者を非難しても意味はないが、人間の心理は弱いものだ。」「マスクを着用していないと入門・入室できない企業が増加し、マスクの確保が急務であるが入手困難。」「新型コロナウイルスの終息と中小・小規模事業者への政府の支援策を早急に打ち出して欲しい。」との回答。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	4.5	36.4	59.1	▲54.6	下 降
売上高	8.7	21.7	69.6	▲60.9	上 昇
採 算	8.7	43.5	47.8	▲39.1	横ばい

【小 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『各種食料品』…「菓子業界の三大商戦月(12月～3月)の売上ピーク時に新型コロナウイルスの感染拡大に突入し、需要は低下した。業界全般的に売上の低迷に喘いでいる。コロナショックの影響の長期化を見据え、終息まで半年は掛ると予想する。今後、中小・小規模企業は倒産だけでなく、廃業を促す契機にもなり得る。それ故に日本経済の低迷を食い止めるため、政府の思い切った大規模財政政策の出動を願うばかりだ。」「消費税増税、新型コロナウイルス、大型店の出店など厳しい環境により業界は難しい局面を向かえている。今後仕入流通の滞りが心配、新型コロナの終息にかかっている。昨今、大型店の集客が厳しくなり中小のスーパーの店入りがよく、売上の逆転現象が起こっている。」との声。

『食料・飲料』…「新型コロナショックの先行きに対する警戒感は計り知れない。緑茶に多く含まれるポリフェノールのカテキンには抗ウイルス性作用があり、抗菌作用・免疫力を向上させるとされ、さらに注目されれば良いと思う。」との回答。

『衣料品・呉服』…「新型コロナウイルスに関しては、直接影響はないが日本経済が停滞している状況下にあって中小・小規模企業は苦しい立場となると予測する。」「新型コロナウイルスの影響で外出を控える人が多く、来店者が激減。売上の全くない日が続き、従業員の給料はもちろん資金繰りに厳しい状況下である。今後の見通しがつかず憂慮すべき事態である。」「販売・需要は全般的に悪化、好転する要因が見当たらない。」との意見。

『生花』…「不況感による買い控え傾向のなか、大型店による安価販売が小規模店を圧迫している。その上、新型コロナウイルスの影響で商店街もここ数日人影がない。」「新型コロナウイルスの影響は一時期キャンセル等が多く需要も減ったが、県内に於いてはさほど深刻な状況には至っていない模様。顧客への営業に力をいれ、需要も若干回復してきた。しかし、イベント等開催できない間は需要も増えず、当市にも感染が拡大されてくると更に状況は悪化する。」との意見。

『日用品・雑貨』…「増税の影響か売上不振が続き、老舗商社の苦戦が伝えられている。当店に於いては、現金売上は変わらないがキッシュレス分が増収しているように思われる。」「前半は販売・需要は通販が大幅に増えたため昨年並み、後半は新型コロナウイルスの影響で売上減少は避けられない。」との回答。

『化粧品』…「化粧品業界では新型コロナウイルスの影響で大型集客施設等での売上低迷が顕著とのこと。商品は国産がほとんどのため影響は少ないとみているが、容器等は中国産もある。中国国内のウイルス対策の成果で生産が戻りつつあるらしいが、事態は未だ流動的であり、中国の情勢もなお楽観を許さない。WHOがパンデミックを宣言し、世界経済への先行きに対する警戒感が広がり、このまま感染拡大が長期化すれば国内での企業業績の下振れは避けられない。」とのコメント。

『家電製品』…「新型コロナウイルスの影響により中国製の電化製品の流通が途絶えているため、製品の在庫不足により売上低下に危惧する。」との声。

『自動車』…「新車販売台数は、18年比1.5%減で3年ぶりのマイナス。消費税増税や度重なった自然災害などで昨年10月以降、需要が停滞した。今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響は計り知れない。」「新型コロナウイルスの影響被害が甚大で先の見通しが立たず、この先3ヵ月し非常に厳しい状況となっている。一刻も早く終息を望みこのマイナス分を取り戻せることを切に願う。」との回答。

『その他』…「会議所の『SNSWEB活用実践塾』に参加し、SNSにて当店の情報を発信したところ市外近隣等の顧客が増え、売上に貢献している。『吉原まるごとマルシェ』は生憎の雨天であったが、約1万人の人出でまずまずであった。新型コロナウイルスの影響が強く飲食店等は苦戦している模様。」「富士駅北口周辺再開発整備を早急に実施し、新幹線新富士駅と岳南電車を富士駅に乗り入れ、市の核となって欲しい。」「2月上旬の時点にて新富士駅の乗降客数が昭和63年開駅以来、最低数の日を記録したと耳にした。コロナウイ

ルス感染拡大に伴う自粛ムードが過剰なような気がする。」「富士駅周辺の飲食店は大変厳しく、苦戦を強いられているようだ。」「小中高校の一斉休校、イベントの中止要請など外出自粛の広がりには消費マインドを低下させるため、地元地域をもう一度見直し、近隣での消費拡大に期待したい。」との意見。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	5.3	21.1	73.7	▲68.4	上 昇
売上高	21.1	21.1	57.9	▲36.8	下 降
採 算	10.5	31.6	57.9	▲47.4	下 降

【サービス業】 景気ムード…【厳しい状況】

『飲食』…「3月の予約キャンセルが増大。他支店でも歓送迎会など全てキャンセルとなり厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの影響による来店客の激減に起因した倒産・廃業が増加すると予想される。この事態が収束されない限り経営が成り立たない我慢にも限界がある。」とのコメント。

『クリーニング』…「昨年の消費税増税及び今回の新型コロナウイルスの影響が客先に出ており、売上の減少となっている。」との回答。

『運輸・倉庫』…「米中貿易摩擦激化のなか、新型コロナ感染の拡大で物流業界も急に厳しくなってきた。この先、見通しがつかない。」「新型コロナ対策の自粛ムードによる経済活動への影響が出始め、世界規模に拡大化しリーマンショック以来の景気後退に突入することを覚悟しなければならないと推察する。」との声。

『自動車整備』…「新型肺炎により自動車部品(ナビ他)が不足しており、販売品が在庫切れにより納品が遅延。」とのコメント。

『不動産』…「サービス業(飲食店)は新型コロナウイルスの影響が出始め、店舗より大型店等にあるフードコートなどの店舗は、来客数の減少が顕著に表れ今後より一層拡大される模様。」「宅地造成分譲地の需要低迷。」「立地条件がよく空き店舗・空き部屋が少なく収入は安定している。しかし、建物の老朽化に伴い修理修繕費が嵩む傾向。」「依然として分譲地が供給過剰と感じる。問い合わせが無くなり値下げ競争が始まりそうな予感。」との意見。

『求人広告・広告デザイン』…「新型コロナウイルスの影響が大きく、終息時期が見えない限り景気は低迷し続ける様相。」「新型コロナウイルス感染拡大が影響し、自粛ムードにより休業する顧客が増え、売上減収の要因となっている。先行き不透明な状況である。」との声。

『専門サービス』…「経営者の高齢化に伴う廃業・解散の動きがあり、事業承継が不可能な小規模事業者が多発する模様。コロナウイルスの影響により、様々な職種に対し資金調達が困難な事業所が予想される。現状では、いつ終息するのか不明であり、資金繰りの厳しい事業者や売上が低迷しているものなど事業の継続が危ぶまれる傾向がある。当業界として事業者の廃業等は死活問題となるのではないかと予測する。」「新型肺炎の感染拡大が影響し、所得税・消費税(個人)・贈与税申告期限が3月16日から4月16日に延長されることとなった。」「新型コロナウイルス感染拡大の影響が広範囲に及び始め消費経済の低迷は避けられない予感、資金繰りの相談等が増加すると予測する。」との見解。

『旅館・ホテル』…「新型コロナウイルスの影響は甚大で現時点で昨年対比 70%減少。稼働率は前期より順調に伸びていたが、3月の繁忙期に大変な痛手である。」との意見。

『旅行業』…「新型コロナウイルスの感染拡大により国内旅行の自粛等でキャンセルが相次ぎ、3月の売上が大幅に悪化。早期収束を願うが、先が見えずキャンセルしたお客様が再度戻り、回復できるか不安である。」との回答。

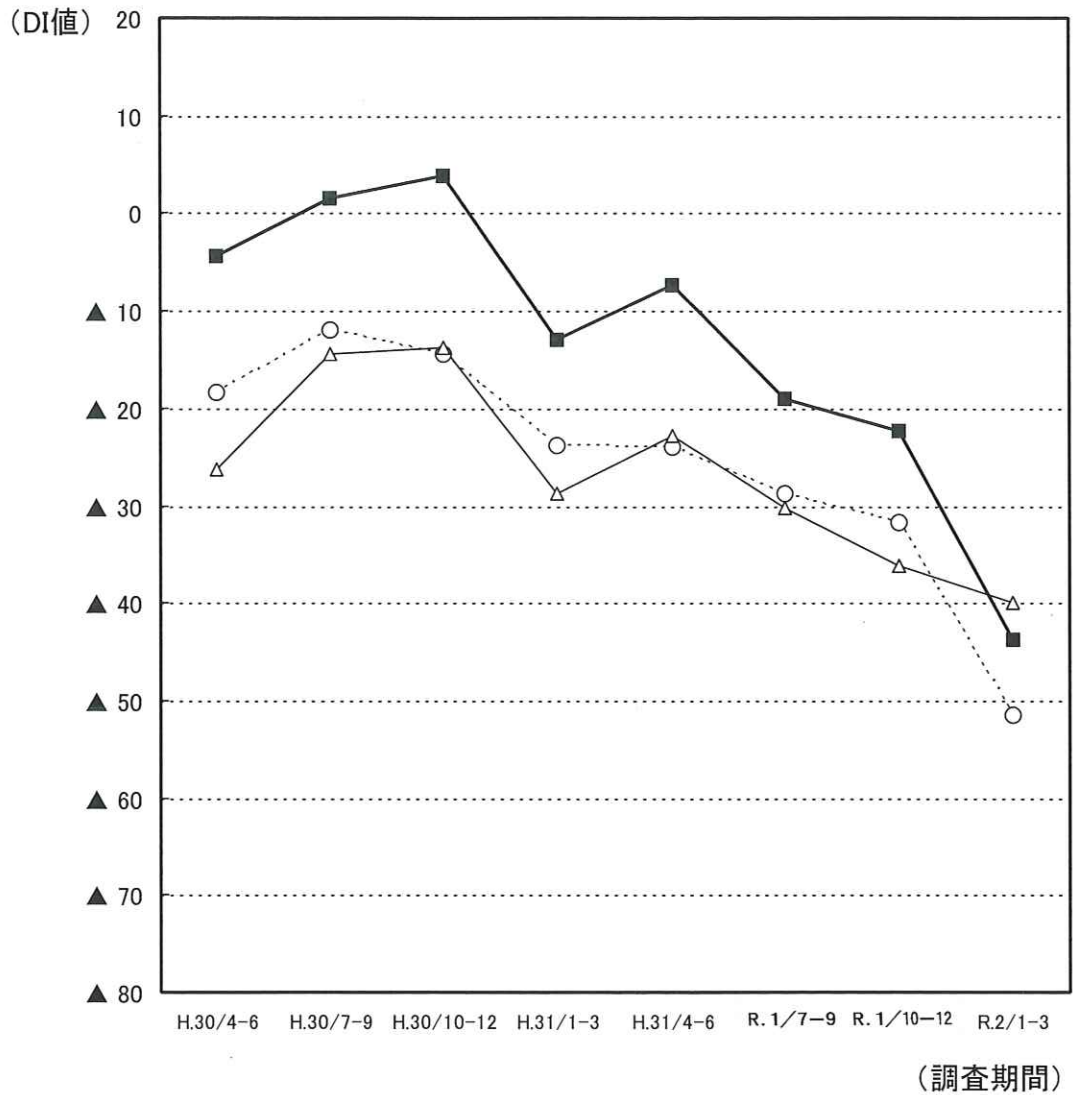
『介護サービス』…「入所需要は多いが職員不足が深刻化。人材不足は先がみえず将来的にも心配。」とのコメント。

『その他』…「新型コロナウイルス影響が地域・業種を問わず各方面に深刻な影響がでてきている。早期の終息を願う。」「デマ情報からトイレトペーパーを求める人が殺到し、近隣製紙会社での交通渋滞トラブルがあった。」「前期同様フィットネスクラブが引続き、新規オープンしている。健康に対する意識や利用客の年齢層も上がりニーズが高まっている模様。」「富士駅周辺地区は人の流れはあるため、上手くまちおこし等で地域活性化出来れば潜在的パワーは大きいと考える。」「新々富士川橋に関連し、市道（金華堂周辺道路）の拡張が始まった。JA 岩松・富士信金辺りの道路は、入札不調の影響で拡張工事が遅れているようだ。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	7.4	29.6	63.0	▲55.6	下 降
売上高	18.5	22.2	59.3	▲40.8	横ばい
採 算	11.1	37.0	51.9	▲40.8	下 降

全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上 ○ 業況 △ 採算

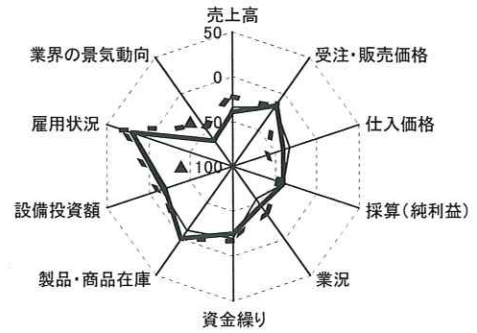


レーダーチャート

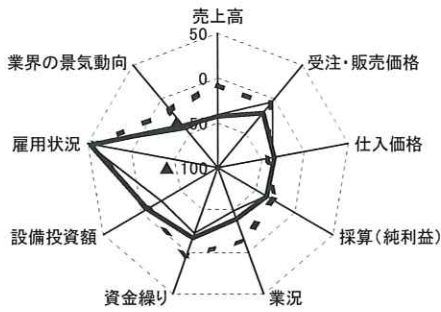
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比	———
来期予測	———
前回調査時	- - - - -

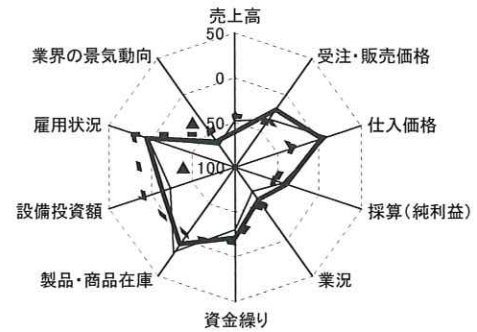
【製造業】



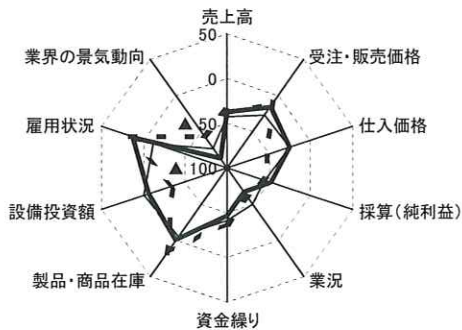
【建設業】



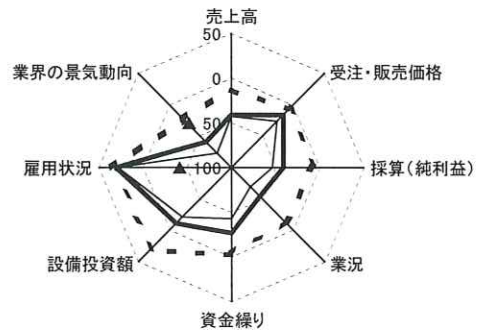
【卸売業】



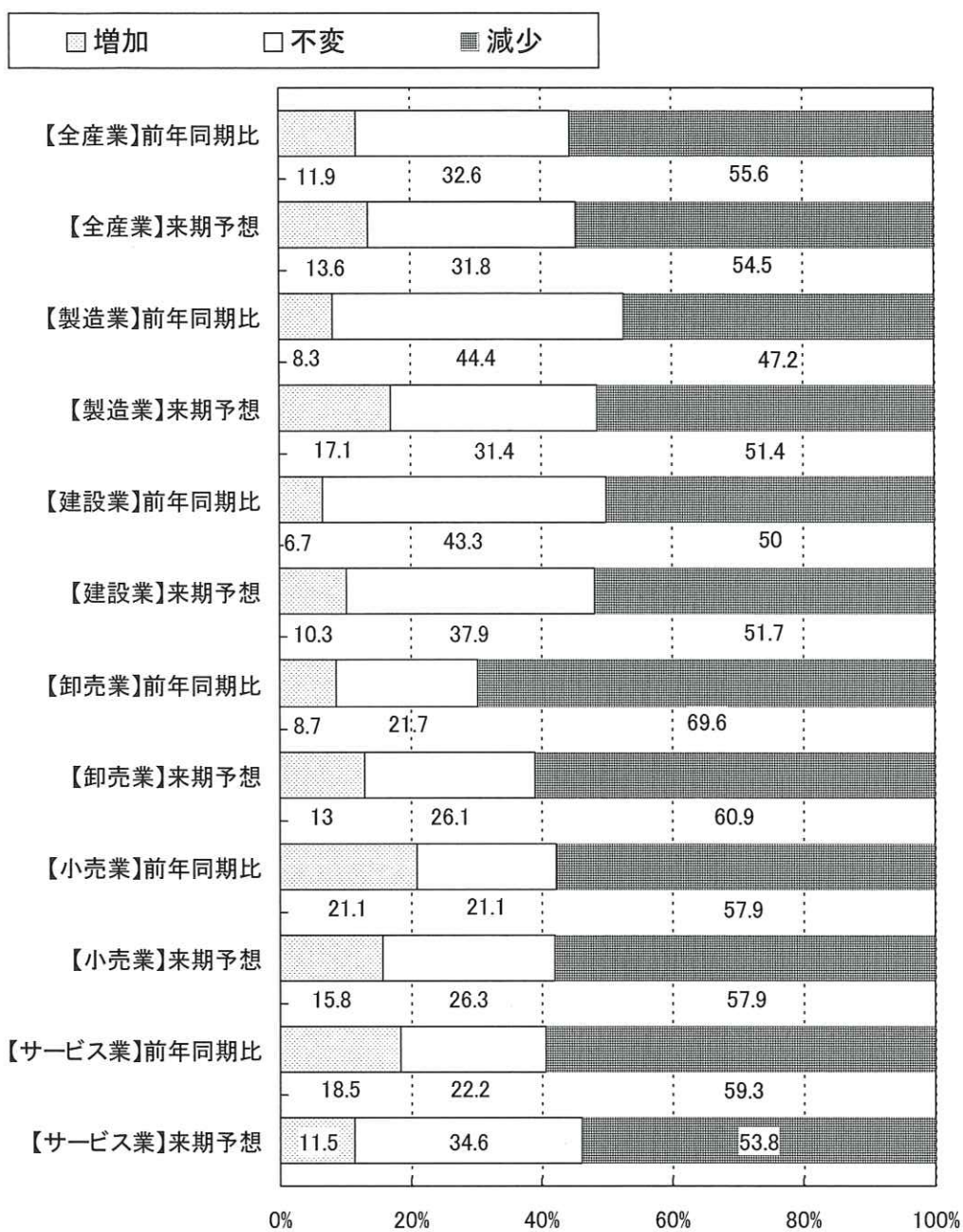
【小売業】



【サービス業】



売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 設備老朽化</p> <p>2 位 売上減に伴う利益減／人材不足</p> <p>3 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 その他の需要の低迷／人件費高騰</p>
建設業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 人員不足</p> <p>3 位 売上減に伴う利益減</p> <p>その他 過当競争</p>
卸売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 人材不足</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>
小売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 売上、利益減による資金圧迫／設備老朽化</p> <p>3 位 その他の需要の低迷</p> <p>その他 その他の経費増大</p>
サービス業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>3 位 過当競争／人件費高騰／人材不足／設備老朽化</p> <p>その他 販売価格の低下／その他の需要の低迷</p>

最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2020年3月11日）

日本銀行静岡支店
照会先 TEL 054-273-4106

（概況）

県内の景気は、緩やかな拡大基調にあるが、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響等から停滞している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加が続いている。また、公共投資は着実に増加している。一方、個人消費は、雇用・所得環境が緩やかに改善する中、基調としては持ち直しているが、足もとでは消費税率引き上げ、天候不順、新型コロナウイルス感染症の影響から弱い動きとなっている。また、住宅投資は貸家を中心に減少している。輸出は海外経済減速を受けて減少している。

こうした下で、企業の生産は減少している。雇用・所得環境をみると、労働需給のタイト感は一頃に比べて幾分低下しているが、全体としては緩やかな改善が続いている。

消費者物価（除く生鮮食品）は前年を上回っている。

1. 需要項目別の動向

- （1）個人消費・・・雇用・所得環境が緩やかに改善する中、基調としては持ち直しているが、足もとでは消費税率引き上げ、天候不順、新型コロナウイルス感染症の影響から弱い動きとなっている。

百貨店・スーパー売上高は、季節商品を中心に弱めの動きとなっている。新車登録台数・販売台数は、一部車種の供給制約、消費税率引き上げ、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。コンビニエンスストア売上高は、緩やかに増加している。家電販売額は増加している。ドラッグストア売上高は、着実に増加している。旅館・ホテルの宿泊数は、既往ピークの水準で推移してきたが、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。

- （2）公共投資・・・着実に増加している。（公共工事請負金額前年比：20/1月+52.8%
⇒2月+29.9%）

- （3）設備投資・・・新たな需要の獲得や次世代技術の開発等に向けて、能力増強投資、生産性向上投資、研究開発投資等の増加が続いている。（設備投資額前年度比<短観>：19年度計画+5.8%⇒19年度計画+5.1%）

- （4）住宅投資・・・貸家を中心に減少している。（新設住宅着工戸数前年比：19/12月▲3.3%⇒20/1月▲5.5%）

- (5) 輸出・・・海外経済減速を受けて減少している。(輸出額前年比:19/12月▲11.5%
⇒20/1月+2.5%<速報値>)
輸送用機械を中心に減少している。

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

- (1) 生産・・・減少している。(鉱工業生産指数・生産 季節調整済(15年基準) 前月比:
19/11月2.6%⇒12月▲3.3%<速報値>)
自動車・同部品は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、引続き減少している。
二輪車・同部品は、新型コロナウイルス感染症の影響あって、持ち直しの動きが一服し
ている。食料品は、横ばい圏内の動きとなっているほか、電気機械は、増勢が鈍化して
いる。化学は、増勢が鈍化している。はん用・生産用・業務用機械は、弱めの動きとな
っている。紙・パルプは、減少しており、楽器は、持ち直しの動きが一服している。
- (2) 雇用・所得・・・労働需給:有効求人倍率、新規求人倍率は、一頃に比べて幾分低
下しているが、引き続き高い水準にある。雇用者所得:緩やかな増加が続いている。
(有効求人倍率 季節調整値:19/12月1.47 倍⇒20/1月1.38 倍)
一人当り名目賃金は、増勢が鈍化している。常用労働者数は着実に増加している。
- (3) 物価・・・消費者物価指数(除く生鮮食品)は前年を上回っている。(指数・前年
比:19/12月0.5%⇒20/1月+0.7%)

3. 企業倒産、金融面の動向

- (1) 企業倒産(負債総額10百万円以上)・・・件数、負債総額ともに総じて落ち着いている。
企業倒産(20/1月、負債総額10百万円以上)をみると、件数(18件<前年比:20.0%>)、負債総
額(59億円<同:+381.3%>)
- (2) 預金・・・前年を上回っている。(前年比:19/12月末+1.7%⇒20/1月末+1.2%)
- (3) 貸出・・・減少している。(前年比:19/12月末▲1.9%⇒20/1月末▲0.8%)
- (4) 貸出約定平均金利・・・前月比上昇した。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)
(19/12月1.739%⇒20/1月1.769%)。

以 上